

製品名: INSL5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12626**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 14kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 遺伝子名 | INSL5 UNQ156/PRO182 |
| 別名 | |
| 遺伝子 ID | 10022.0 |
| SwissProt ID | Q9Y5Q6 |
| 免疫原 | ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 30-110 |

背景

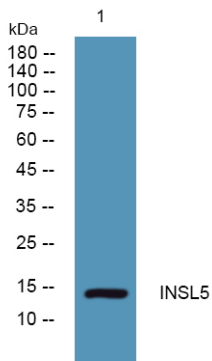
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インスリンスーパーファミリーの典型的な特徴を有し、リラキシン 3 (RLN3/INSL7) と高い類似性を示す。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 腸の収縮性、または胸腺の発達と調節に関与している可能性がある

る。類似性: インスリンファミリーに属する。サブユニット: 2つのジスルフィド結合によって連結されたB鎖とA鎖のヘテロ二量体。組織特異性: 直腸で高発現し、子宮、上行結腸、下行結腸では低発現を示す。

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、INSL5 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩